

KUW.023

Citation 1

Remarks:

Attention should be paid to Section [0014] of Citation 1, in that reference is made to the point of accomplishing the wiring of the light source of a back light by means of a directly coated electro-conductive pattern.

Citations 1, 2 and 3

Remarks:

Reference is made to the remarks indicated above.

Regarding the point of constructing a reflector by means of a PET, reference is made to Section [0013] of Citation 2.

In addition, regarding the composition of an electro-conductive resin, reference is made to Section [0007] of Citation 3.

Citations 1, 2 and 3

Remarks:

Reference is made to the remarks made above.

Making the position of the wiring to be the shortest possible distance is nothing more than an ordinarily applied means.

Reference Citation List

1. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 10-206847
2. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 08-152623
3. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 09-306240

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2000-205007
起案日	平成15年 8月20日
特許庁審査官	仁木 浩 8011 3X00
特許出願人代理人	開口 宗昭 様
適用条文	第29条第2項、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献については引用文献一覧参照)

(特許法第37条について)

請求項1、5、8、13、17に共通する新規な主要部もしくは新規な課題が不明瞭である。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1-4以外の請求項に係る発明については同法第37条以外の要件についての審査を行っていない。

なお、出願の単一性の判断に関して、「解決しようとする課題」及び「主要部」の考え方については、改訂審査基準(2000年12月)第I部第2章1. 1. 2及び1. 2. 2の記載を参照されたい。また、単一性を充足しない出願の審査手順については、改訂審査基準(2000年12月)第IX部3. (3)、5. 2. 1(2)(i)等の記載を参照された。前記改訂審査基準は、特許庁ホームページ(<http://www.jpo.go.jp/info/tt12>

12-045.htm)において参照可能である。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1-4以外の請求項に係る発明については同法第37条以外の要件についての審査を行っていない。

なお、今後補正に当たっては、新規事項の追加とならないように、留意されたい。また、意見書による釈明も検討されたい。なお、補正の根拠は意見書中において明示されたい。

(特許法第29条について)

・請求項1

・引用文献等1

・備考

引用文献1の【0014】には、バックライトの光源の配線を直接塗布された導電パターンにより行う点が記載されているので参照されたい。

・請求項2、3

・引用文献等1、2、3

・備考

上記の備考を参照されたい。

PETによりリフレクタを構成する点は引用文献2の【0013】を参照されたい。

また、導電樹脂の組成は引用文献3の【0007】を参照されたい。

・請求項4

・引用文献等1、2、3

・備考

上記の備考を参照されたい。

配線の位置は最短距離になるようにすることは常套手段にすぎない。

引用文献等一覧

1. 特開平10-206847号公報
2. 特開平08-152623号公報
3. 特開平09-306240号公報

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

KUW.023

この拒絶理由について問い合わせがあるとき、又は面接を希望されるときは、次の連絡先にご連絡ください。

連絡先：特許審査第2部 照明 仁木 浩

電話 03-3501-6905

ファックス 03-3501-0672